

# 地域企業との協働による大学オリジナル商品の開発がもたらす 大学の魅力向上効果

Enhancing University Appeal through the Development of Original Products  
in Collaboration with Local Companies

石澤祐美<sup>1)</sup>, 小松雪乃<sup>1)</sup>, 柳井響<sup>1)</sup>  
指導教員 岩本直樹<sup>1)</sup>, 河合彩香<sup>1)</sup>

1) 東京家政学院大学 現代生活学部 食物学科 岩本ゼミ

近年、他大学では学校独自の商品が作られているが、本学には自校のオリジナル商品が少ない。また、若者の和菓子離れが懸念されている。そこで、八王子市の「東洋米菓株式会社」と共同で本学のオリジナル商品を開発し、商品の企画から販売までのプロセスを通じて、本学の魅力を向上させることを目指す。

キーワード：地域企業、和菓子、どら焼き、大学オリジナル商品

## 1. はじめに

現在、様々な大学でオリジナル商品が販売されている。大学の統合や少子化による入学者数の減少から、他大学との差別化を図るため、ブランドイメージ戦略が重要視されている。また、大学の産学連携・地域連携活動から生まれる研究成果等のブランド戦略も重要になっている<sup>1)</sup>。例えば、福岡大学では洋菓子の老舗とコラボしオリジナルクッキーを販売し<sup>2)</sup>、岡山大学では地元の名産であるジーンズを使用したオリジナル商品を販売している<sup>3)</sup>。しかし、本学にはオリジナル商品が少なく、販売は行っていない。そのため、他大学にはない新たなオリジナル商品を開発し販売することで、本学への興味や関心のきっかけとなり、本学の魅力がさらに向上するのではないかと考える。

また、八王子と和菓子の歴史は古く、砂糖を使用した菓子が八王子に出回るようになったのは、西南戦争（明治10年）頃からである<sup>4)</sup>。現在、八王子市には八王子和菓子組合に加盟している店だけで32店舗の和菓子屋が存在している<sup>5)</sup>。しかし近年、若者の和菓子離れが懸念されており、和菓子を食べる機会が少ないことから、和菓子に比べて洋菓子に対する嗜好性が高いとされている。そのため、昔ながらの伝統のある和菓子を守りながらも、現代的な要素を取り入れた新たな和菓子が求められている<sup>6)</sup>。

## 2. 目的

本研究では八王子市にある「東洋米菓株式会社」と共同で本学のオリジナル商品を開発する。本学の校章のモチーフであるバラの要素を取り入れ、和と洋を融合させた他大学にはない新たな商品を開発し、商品の企画から販売のプロセスを通じて、本学の魅力を向上させることを目的としている。

## 3. 方法

まず、八王子市の和菓子屋についての情報を収集した。その後、どら焼きに着目し、コンセプト、生地や中身についての試作、商品名の考案、ラベルデザインの検討を行った。商品は、若い世代に食べてもらうことを想定している。また、11月に開催される本学の学園祭で、開発したどら焼きを販売し、アンケートの実施を予定している。その後、アンケート結果を調査し、今後の大学内での継続販売に繋げたいと考えている。

## 4. 結果・考察

本学の校章のモチーフとされているバラをそのまま食品に取り入れるのではなく、バラ科の果物であるラズベリーを使用しピンクのバラ色にしたことで、本学をイメージさせるどら焼きを開発することがで

きた。また、ピンク色であることや、ホワイトチョコパウダーをまぶすなど、生地に特徴を持たせたことで、中身はクリームと牛乳ゼリーのためのシンプルなものに仕上げた。商品名については、割ったときの断面が、「花霞」というバラに似ていることや、本学の創設者の名前からとって、「ハナガスミ」に決定した。ラベルデザインについては、図1の通りである。

どら焼きは、若い世代にはあまり馴染みのないお菓子であるということから、中身を餡ではなく、クリームを使用することで、食べやすく、より興味を持ってもらえるような商品になると考えられる。栄養価も大切であるが、心が躍るような見た目と美味しさも重要であると考えられる。

また、大学の周辺地域の企業と連携することで、大学の活性化だけではなく、地域との繋がりが増え、地域活性化にもつながると考える。

学園祭では、160個を販売する予定である。アンケートを実施し、その結果に基づいて、今後は本学のオリジナル商品として学内のイベントでの販売や、お祝いの記念品として贈呈するなど、継続して販売できるよう努めていきたい。



図1 ラベルデザイン

- 2) 福岡大学. “オリジナルグッズ販売”. (参照 2024-9-24)
- 3) 岡山大学. “岡山大学オリジナルグッズ Online Shop”. (参照 2024-9-24)
- 4) まいぷれ「八王子市」. “八王子の和菓子を楽しもう!”. (参照 2024-7-4)
- 5) まいぷれ「八王子市」. “八王子和菓子マップ”. (参照 2024-7-4)
- 6) 村上陽子. “大学生における和菓子の食時好性について”. 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要 No17. p65-74 (2009).

## 5. 謝辞

お忙しい中、共同開発を快くお受けくださった、どら焼きまかな～万叶～山際様に心から感謝申し上げます。引き続きよろしくお願いたします。

## 6. 参考文献

- 1) 特許庁. “大学におけるブランド活用の研究報告書”. (参照 2024-9-24)